

日本語能力考试备战系列

N2 读解习题集

[日] 桑山哲郎 编著

 上海外语教育出版社
外教社 SHANGHAI FOREIGN LANGUAGE EDUCATION PRESS
www.sflep.com

日本語能力考试备战系列

N2 读解习题集

[日] 桑山哲郎 编著

 上海外语教育出版社
外教社 SHANGHAI FOREIGN LANGUAGE EDUCATION PRESS

图书在版编目(CIP)数据

N2 读解习题集/(日)桑山哲郎编著 —上海:上海外语教育出版社,2013

(日本语能力考试备战系列)

ISBN 978-7-5446-3081-8

I. ①N… II. ①桑… III. ①日语-阅读教学-水平考试-习题集 IV. ①H369.4-44

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2013) 第 025690 号

出版发行: **上海外语教育出版社**

(上海外国语大学内) 邮编: 200083

电 话: 021-65425300 (总机)

电子邮箱: bookinfo@sflep.com.cn

网 址: <http://www.sflep.com.cn> <http://www.sflep.com>

责任编辑: 朱 丹

印 刷: 上海信老印刷厂

开 本: 787×1092 1/16 印张 7.5 字数 145千字

版 次: 2013 年 5 月第 1 版 2013 年 5 月第 1 次印刷

印 数: 3 000 册

书 号: ISBN 978-7-5446-3081-8 / H · 1527

定 价: 18.00 元

本版图书如有印装质量问题,可向本社调换



前言

2010年7月起,新的日本语能力考试已经开始实施,本书就是根据新N1级的读解出题标准而编写的习题集,笔者希望广大的学习者通过使用本书,能够更加系统地掌握N2读解所需要掌握的知识。

根据新出题标准,N2级读解的考察内容包括短文内容理解、中等长度文章内容理解、综合理解、长文章主张理解、信息检索等题型,不仅要求考生有足够的词汇量、语法知识和阅读能力,而且对考生的语感、灵活运用能力和信息检索能力都有一定的要求。

本书共包括六个单元,其中第一单元主要是各种题型的例题,通过解题的过程,讲授各种题型的解题方法。考生通过这一单元的学习,可以更好地整理和复习N2读解部分的解题方法要点,从而起到温故知新、查漏补缺的作用。本单元以知识的整理为主,因此在学习的过程中可以查词典、找资料,也可以在课堂上老师的指导之下进行。后面几个单元按照能力考试N2读解真题的难度,针对各种题型设计了大量的练习,可供使用者了解和适应考试的题型,检验自己复习的效果,为参加考试做好准备工作。这部分练习最好独立完成,以检验和找出自己的薄弱环节,从而更好地进行有针对性的复习。习题都附有解说和答案。

笔者一直在中国从事日语教育工作,在多年和中国的日语学习者打交道的过程中,积累了一些中国人学习日语和参加日本语能力考试的知识,希望能在新的能力考试实施之际,将这些知识分享给中国更广大范围内的日语学习者。由于笔者水平有限,谬误在所难免,敬请读者批评指正。

2012 年秋

桑山哲郎

この本で勉強するみなさんへ

1 新試験の合格点と基準点について

以前の試験では、「読解」が独立して出題されましたが、2010年からの新しい日本語能力試験では、「言語知識（文字・語彙・文法）・読解」（105分）となります。ですから、「言語知識」の問題は早く済ませて、「読解」の問題にじっくり取り組む必要があります。

また、「得点区分」は、「言語知識 60点」、「読解 60点」、「聴解 60点」で、「総合得点」は180点となり、全体の三分の一を「読解」が占めます。前の試験より、「読解」の分量も増え、問題形式も新しい問題形式が二つあり、総合的な読解力が重視されています。

新しい日本語能力試験では、総合得点が合格に必要な点〔合格点〕以上であること、各得点区分の得点が、区分ごとに設けられた合格に必要な最低点〔基準点〕以上であることの二つで合否判定が行われます。新しい試験では、「各得点区分」で、一科目でも基準点以下だと、他の区分で（「言語知識」「聴解」）で点数がよくても、不合格になってしまいます。

ですから、新しい試験では、「読解」の得点が非常に重要となってきます。できるだけ早く、そして的確に文章の内容をつかむことが大切になってきます。

第1回（2010.7）と第2回（2010.12）の試験では、基準点と合格点は次のようになりました。

レベル	総合得点	合格点	基準点		
			言語知識（文字・語彙・文法）	読解	聴解
N1	180 点	100 点	19 点	19 点	19 点
N2	180 点	90 点	19 点	19 点	19 点
N3	180 点	90 点	19 点	19 点	19 点

N2に合格するには、総合得点（180 点満点）で50％以上、[読解（60 点満点）]では、32％以上の得点が必要となります。

2 新しい読解問題の構成について

新しい読解の試験では、多様な領域からのテキスト（文章）をあつかいます。テキストの話題・内容は、学習に関するもの、生活の中で目に触れる実用的なもの、仕事に関するものなどが取り入れられます。また、テキストの種類は、説明文、意見文、評論、エッセイなどの他に、生活場面で目にする連絡や案内、仕事で使われる文書などです。テキストの形式は、一般的な文章形式の他に箇条書きや表の場合もあります。そして、テキストの長さも、レベルに応じて短文、中文、長文の分けがあります。

新試験では、今までの試験と同様に、テキストの「細かい部分を注意深く読んだ的確に理解できるかどうか」を問う【内容理解】の問題が出ます。また、テキストの全体像を的確に把握し、大意を取ったり、キーワードをおさえたりする「全体を迅速に注意深く読む」読み方も必要です。論説文などのテキストでは、それが何を伝えるためのものか、そもそも筆者は何を言いたいのかを理解することが全体の内容理解には欠かせません。N2では【主張理解】を問う問題が出題されます。

新試験では、新しい形式の問題が出題されます。一つは、複数のテキストを読み比べて、情報を比較・統合しながら理解できるかを問う「統合理解」問題です。もう一つは、お知らせやパンフレットなど、隅から隅までじっくり読んで理解するのではなく、読む目的に沿って、必要なところだけを探したり拾い読みしたりすることが多いタイプのテキストです。「情報素材」の中から必要な情報を探し出すことができるかを問う問題です。

N2の新試験では、以下のような問題が出題されます。

A【内容理解（短文）】生活・仕事などいろいろな話題も含め、説明文や指示文

など200字程度のテキストを読んで、内容が理解できるかを問う。(5問)

B【内容理解(中文)】比較的平易な内容の評論、解説、エッセイなど500字程度のテキストを読んで、因果関係や理由、概要や筆者の考え方などが理解できるかを問う。(9問)

C【統合理解】比較的平易な内容の複数のテキスト(合計600字程度)を読み比べて、比較・統合しながら理解できるかを問う。(2問)

D【主張理解(長文)】論理展開が比較的明快な評論など、900字程度のテキストを読んで、全体として伝えようとしている主張や意見がつかめるかを問う。(3問)

E【情報検索】広告、パンフレット、情報誌、ビジネス文書などの情報素材(700字程度)の中から必要な情報を探し出すことができるかを問う。(2問)

【内容理解】【主張理解】の問題の形式としては、①下線部 _____ とは、どういうことか、_____ と筆者が考える理由は何か、②()の中に適当な言葉を入れる問題、③それ、これは何を指しているか、④文章の中で筆者が最も言いたいことは何か、この文章から _____ についてわかることはどんなことか、などといった問題が出ます。

【統合理解】の問題の形式としては、①AとBどちらにも触れられている内容はどれか、② _____ について、Aの筆者とBの筆者はどのような立場をとっているか、などといった問題が出ます。

【情報検索】の問題の形式としては、〇〇をするとき、何が必要か、××に申し込める□□はどれか、などといった、必要な情報を見つける問題が出ます。

【例題と解法】をよく読んで、やってみてください。[言語知識(文字・語彙・文法)・105分]ですから、読解にかかる時間は、所要時間105分のうち、半分ぐらいの55分は必要です。この時間内で解けるように、訓練してください。

【練習問題】の最後に、詳しい【解説】がありますので、答えが間違った人は【解説】をよく読んで、なぜ間違ったのか確認して正しい答えを見つけてください。

目次

ユニットⅠ	例題と解法	1
ユニットⅡ	内容理解(短文)	5
ユニットⅢ	内容理解(中文)	14
ユニットⅣ	統合理解	33
ユニットⅤ	主張理解(長文)	50
ユニットⅥ	情報検索	87
解答と解説		100

例題と解法

例題 次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

ものを考えるに当たっても、ことわざを援用すると、簡単に処理できる問題もすくなくない。現実には起こっているのは、(①) 的問題である。これはひとつひとつ特殊な形をしているから、分類が困難である。これをパターンにして、一般化、記号化したのがことわざである。Aというサラリーマンの腰が落ちつかず、つぎつぎ勤めを変えている。これだけでは、サラリーマン一般、(②)、人間というものにそういう習性がある、③その害が古くから認められていることに思い至るのは無理だろう。

これに“ころがる石はコケをつけない(注)”というパターンをかぶせると、サラリーマンAも人間の習性によって行動していることがわかる。別に珍しくもない、となる。

(①) 例を抽象化し、さらに、これを定型化したのが、ことわざの世界である。庶民の知恵である。④古くから、どこの国においても、おびただしい数のことわざがあるのは、文字を用いない時代から、人間の思考の整理法は進んでいたことを物語る。

(外山滋比古『思考の整理学』による)

(注) ころがる石はコケ(苔)をつけない: A rolling stone gathers no moss. イギリスのことわざで、ひとつの所で専念して仕事をせよ、という意味。

問 1 (①) に入る適切な言葉はどれか。

- 1 習性 2 具体 3 パターン 4 現実

【解法 1】 () 中の言葉を選ぶ問題は、文の中に同じような似た表現、あるいは対比になって使われている言葉があるので、それをさがす。

読解の問題の解答は、必ず文の中にある。自分の考えや感情を入れてはならない。

現実＝特殊→具体的に対して、一般→抽象的となる。具体の反意語は抽象である。したがって、正解は2。

問2 ②に入る適当な語を選びなさい。

- 1 および 2 それとも 3 さらには 4 つまり

【解法2】 前の言葉と後の言葉をつなぐ接続語の問題は、前後がどんな関係か、よく内容を考えてみるのが大切だ。

1. 順接(原因・理由) → だから、それで、そこで、したがって
(条件) → すると、それなら、それでは
2. 逆接 → しかし、しかしながら、けれども、
が、にもかかわらず、それなのに、と
ころが
3. 言い替え、例示 → つまり、すなわち、たとえば
4. 並列、添加 → そして、それから、それに、また、そ
のうえ、さらに、そればかりか、それ
どころか
5. 選択 → または、それとも、あるいは
6. 対比 → 一方、逆に、反対に
7. 補足 → なお、ただし、もっとも

「サラリーマン一般」をもっと拡大して「人間というもの」におよぶということ、3が正解となる。「および」は単なる並列、「それとも」は選択、「つまり」は言い替えを表わす。

問3 ③その害が古くから認められているとあるが、その害とはどういうことか。

- 1 現実のおこっていることは分類が困難である。
- 2 人間というものはすぐに次々とよそへ移ったりして安定していない。
- 3 現実におこっていることは簡単に処理できない。
- 4 人間というものは習性によって行動する。

【解法3】 「それ/その、これ/この」は何を指しているかという問題は、普通、「それ/その」は、すぐ前の文がその内容、これ/このは、すぐ前かすぐ後の文が、その内容となる。ただ、読み手に期待感をもたせるために、内容が後にくる場合もあるので注意。

すぐ前の「Aというサラリーマンの腰が落ちつかず、つぎつぎに勤めを変えている。…人間というものにそういう習性がある」がその害。したがって、正解は2。

問4 ④「古くから、どこの国においても、おびただしい数のことわざがある」、と筆者はなぜ考えているか。

- 1 文字がない時代では、ことわざを利用するとわかりやすいから
- 2 人間の悪い生活習慣の本質をついているのがことわざだから
- 3 ことわざは人間の考え方や行動面でのくせなどを分類しやすくするから
- 4 ことわざは現実におこっていることを具体的に表わしているから

【解法4】 読解文の問題には、引用された書名がのっている。書名は、筆者がこの本で述べている主題、つまり、テーマである。だから、まず、書名を見よう。

一般に、ものごとの展開や物語などの長い文章の場合、四つの段落に分かれる。各段落の初めは改行してあるから、すぐわかる。四段落の構成を、起・承・^き転・^{しょう}結^{てん}・^{けつ}と言ったりする。評論文などでは、多くは「転」がない三段落の文章だ。また、説明文や実用文では別の構成になる。

第1段落…起——文章・物語の話題つまりテーマ。

第2段落…承——話題の内容を発展させたり、深める。

第3段落…転——話題を変えて、別の角度から述べたり、別の方向へ展開する。

第4段落…結——結論、締めくくりで、結びであり、筆者の主張にもなったりする。

書名は『思考の整理学』。「思考」つまり、なにかを考えるのには手順が必要である、それが整理ということであろう。これがテーマ。

第一段落。1行目の文「ことわざを援用すると、簡単に処理できる」これが「起」である。そして「ことわざ」は、現実の具体的に起こったことを「一般化、記号化」する。

第二段落。具体的な「ことわざ」の例を引いて、その効用を説く。「承」である。

第三段落。結論、つまり筆者の考えである。「ことわざ」は人間の思考の整理法だと。

読解の解答は必ず、文の中にある。自分の考えや感情を入れないこと。

最後の文「～のは……物語る」の「物語る」は、「ある事実をはっきり説明している」という意味で、「～のは……からだ」と同じ文で、理由を強調した構文。つまり、「人間の思考法が進んでいたから、おびただしい数のことわざがある」ということ。「ことわざ」は、一般化、記号化する→思考の整理法。したがって、正解は3。

内容理解(短文)

次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

問題 1

(前略)「仕事ができる人」「できない人」のいちばんの違いは何だろうか。私がいろいろな仕事で接してきた「できる人」に共通している特徴は、「自分の能力特性の分析」がうまいということだ。

まず、自分は何が得意で、何が不得意なのかを分かっている。もちろんオールマイティ(注1) にあらゆる仕事をこなす(注2) エリートもいるのだろうが、たいていの人は、「仕事の^{えて}得手、^{ふえて}不得手」を持っている。そのうえで、「得意な仕事」を積極的にこなし、「不得意な仕事」からは上手に逃げている人が、実は「仕事ができる人」と評価されるのだ。

(2009.7「新しい日本語能力試験問題例集」

和田秀樹『頭をよくする ちょっとした「習慣術」』による)

(注1) オールマイティ: どんなことも完全にできること。

(注2) こなす: 処理する。

問 この筆者から見た「仕事ができる人」の特徴はどんなことか。

1 自分に向いている仕事は一生懸命にやり、向いていない仕事からは

うまく逃げること

- 2 自分の能力特性を高めるための努力をいつも忘れず、何にでも積極的に取り組むこと
- 3 オールマイティに仕事をしている人のやり方を見習い、不得意なことを克服すること
- 4 始めに仕事が自分の能力にあっているかを分析し、あらゆる仕事を上手にこなすこと

問題 2

“ダメな子”とか、“わるい子”なんて子どもは、ひとりだっていないのです。もし、そんなレッテルのついた子どもがいるとしたら、それはもう、その子たちをそんなふうに見ることしかできない大人たちの精神が貧しいのだ、ときっぱり言うことができます。と思います。

一見、大人目から見てダメに見える子どもの中にも、大人に眼力がないために埋もれたままになっている何かがあるはずなんです。

ひとりひとりの子どもたちの、内部に眠っている宝のような何かに届く大人の^{まなざ}しが今、求められているのではないのでしょうか。

(手塚治虫『ガラスの地球を救え』による)

問 筆者が最も言いたいことはどれか。

- 1 大人は、どんな子どもに対しても先入観をもってマイナス評価をしてしまう傾向がある。
- 2 どんな子どもも内には素晴らしい可能性をもっているので、大人はそれを見つけてやることだ。
- 3 子どもを“ダメな子”とか“わるい子”とかすぐ決めつける大人は精神が貧しい人だ。
- 4 どんな子どもでも、内部にはひとりひとり非常に価値あるものを生まれつきもっているものだ。

問題 3

仕事や日常で、欠かすことのできない道具となったインターネット。しかし、情報を得たり、何かを調べたりするのに、とても便利な道具である一方で、インターネットにはあまりにも膨大な情報ほうだいが溢あふれています。検索をしても、本当に知りたい情報が表示されなかったり、逆にあまりにもたくさん情報が表示されてしまって、かえって選びきれなかったりすることがあります。いずれにしても、本当に探していることをインターネットのなかから見つけ出すのは、なかなか簡単なことではありません。

しかし、検索のキーワードの選び方や、検索方法をほんの少し変えるだけで、自分が探している情報を上手に見つけることができるようになります。そこで手にした情報を、毎日の暮らしに役立てることができれば、より豊かな日々を送ることができるのです。

(『暮らしの手帖』第44号による)

問 筆者がこの文章で最も言いたいことは、どんなことか。

- 1 インターネットの情報はたくさんあるので、日々の生活にとっても便利だ。
- 2 必要な情報をインターネットで探すのはたいへん難しい。
- 3 上手なインターネット検索は暮らしを豊かにしてくれる。
- 4 インターネットは毎日の生活に不可欠の道具となった。

問題 4

拝啓

お元気でお過ごしですか。本日は折り入って(注1)のお願いがありましてお手紙しました。

現在、私は大阪大学経済学部けいざいがくぶの3年生ですが、卒業後は地元に戻って就職したいと考えております。大学のゼミでマーケティング(注2)を学んでおりましたので、できれば企画営業ができる職種があればと思っておりますが、こちらでは、あまり地元の情報がなく苦慮(注3)しています。先生におかれましては、高校で長らく就職指導をなされていたご経験やご人脈ひとみづがおりと思

い、どこかご紹介いただけないかと、勝手なお願いをさし上げる次第です。

履歴書を同封いたしましたので、お心にお留め(注4)おきくださいますよう、お願い申し上げます。

敬具

平成 24 年 3 月 20 日

山川 一郎

〒021-8765 大阪市南区上本町 2 丁目 3 番 34 木村アパート 5 号室

TEL 06-753-4265

(注1) 折り入って:特別にものを頼むときの改まった気持ち。ぜひとも。

(注2) マーケティング:商品を市場に流すための企業の活動。

(注3) 苦慮:どうにかならないかと非常に心配している。

(注4) 心に留める:記憶する。

問 この手紙は何のために書かれたものか。

- 1 大学 3 年生の山川さんが大学のゼミの先生に大阪での就職を依頼するために書かれた。
- 2 この春 4 年生になる山川さんが高校時代の先生に地元での就職を依頼するために書かれた。
- 3 大学 3 年生の山川さんが地元出身のゼミの先生にどこでもいいから就職を依頼するために書かれた。
- 4 大学 3 年生の山川さんが高校時代の先生に、地元以外の場所での就職を依頼するために書かれた。

問題 5

日本の主婦が、書齋^{しょうさい}で仕事をしている亭主^{ていしゅ}(注1)に呼びかける。

お茶が入りました。

平凡な言葉であるが、何と美しい言葉であるか。お茶は自然に入るものではない。亭主のためにお湯を沸かし、土瓶^{どびん}に茶葉を入れて湯を注ぎ、茶碗に注ぐ。そこにちょっとした菓子をそえてから呼びかけるのである。どこかの国ならば、

あなたのために私がお茶を入れたよ
と言いいそうなところである。そう言いっては自分の行為に恩おんを着せる（注2）
言いい方になって、相手に不快の思いいをさせる。そこでお茶が入ったのが自然現象のように——雨が降ってきたとか、小鳥が庭に來た、とかいうのと同じように述べるのである。

お風呂がわきました ご飯ができました
その他すべて、これと同じようなやさしい表現をする。

（金田一春彦『日本語』新版（下）による）

（注1） 亭主：夫。

（注2） 恩を着せる：相手から感謝されようと思ってわざと親切にしてやること。

問 何と美しい言葉であるかとあるが、筆者はなぜそう思っているのか。

- 1 妻がわざわざお茶を入れてくれてやさしい声で言ったから
- 2 妻の言葉にこころよい感情がこもっていたから
- 3 自分の意志的な行為を相手に見せつけない表現を使ったから
- 4 妻がお茶とお菓子も添えて持ってきてくれて静かに言ったから

問題 6

騒音のうるさい電車などの中でも会話ができる。うるさいとは思うけれども、相手の言いうことは何とか聞きとっている。聞き取れぬ部分は見当をつける。しかし、テープレコーダーで①それを録音してみると、会話はほとんど聞き取れないことに驚くのである。この差は人間の耳と機械の耳の相違による。人間の耳は自分の欲する音声を選び出し、それを増幅してキャッチし、欠損部は、補充する。

それに対して、機械は音声も騒音もわけへだて（注1）しないで公平に記録してしまう。これによっても、人間の耳はあるがまま（注2）のものを聞くのではなく、必要と感ずるものだけを聞く器官であることがはっきりする。必要がないと思えば、馬耳東風（注3）②聞けども聞こえずになる。

（外山滋比古『省略の文学』による）